

2025年12月26日

課題名：腹腔鏡下もしくはロボット支援下胃切除における ZEOCLIP FS®の有用性

◆研究の目的と概要◆

当院では、腹腔鏡下胃切除における蛍光クリップ：ZEOCLIP FS®の有用性を調べています。本研究では、胃の切除範囲が最小となる胃の切離線の決定を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2023年1月から、2025年12月までの間に、胃癌であると診断されロボット支援下胃切除術を受けられた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、生年月（or 年齢）、入院・外来の別、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、前治療、血液検査結果、病理診断結果、標本の口側断端距離、手術所見、手術時間、術後合併症、入院期間

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025年3月12日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
外科 研究責任者 長久 吉雄  
E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明